

釣塔大学新聞

図書館の大改装始まる

この規模の工事は創立以来初

予定通り、五月二十日より中央図書館の大規模改修工事が始まった。中央図書館が工事をするのは初めてではないが、この規模の工事は初めてのようなのだ。

中央図書館では以前から語学に関する図書のコナーの小ささに対する不満が寄せられており、図書館は今年度のはじめに工事を行うことを決定した。改修工事後は、ドイツ語、フランス語、

レポート用紙、模造紙他
多様な特殊紙 格安販売
伊花草製紙

ラテン語をはじめとした、様々な言語の本のコナーが作られる。

今回の工事に対して、医学部の我利弁太郎君は、「今まであまり充実していなかった外国語、特にラテン語やドイツ語で書かれた医学書を読むことができるようになるのでうれしいです。工事が

終わるのが待ち遠しいですね」と語った。

この工事が終わるのは九月下旬ごろの予定である。なお、工事中は図書館の9階と10階は立入禁止となる。

金環日食の観測会に

わう五月二十一日午前二時ころ、突如釣り堀から爆発音とともに黒煙が上がった。幸いにもけが人はなかったものの、金環日食で興奮していた世界滅亡研の学生が地球滅亡の始まりと騒ぎ始め、あたりは騒然となった。

後の調査によると、爆発の原因は、釣り堀の循環ポンプの不調であることが判明した。また、黒煙が発生した原因については、ポンプが破裂した圧力で軍事学部が埋めた煙幕発生装置が作動したことであると発表された。

釣り堀で水蒸気爆発

清掃局環境指導部からのお願い
資源のリサイクルに御協力下さい。

学長がツイッター始める

フォローしてね

釣塔大学の現学長であるアルフレード・ガッチャピン氏が5月の下旬ころからツイッターを始められた。

現在フォロワーは20人ほどで今後も増え続けることと思われる。ソーシャルメディア学術学部はフォロワーを増やすために様々な工作をしていく予定だという。

学長は「ツイッターというのは

楽しいものですね。私は多忙なのであまり呟けません。さあ、あなたもさつそくフォローしましょう」と話した。また、自分の考えをそのまま表現するために、母国語であるドイツ語を用いてつぶやくようだ。

露草留紺流

先月5日までのゴールデンウィークも終わり、祝日がない日が続く。学生もうかうか休んでいられない。次の祝日は7月16日海の日。気の遠くなるような先の話に頭がクラクラする。

さて、海の日を迎えればよいよ忌まわしき夏が本格的にやってくる。夏が嫌いなわけではなかった。むしろ小学生の頃は大好きな季節だった。夏休み。朝起きてみれば蝉時雨を聞いて、ラジオ体操に行き、スイカを食べ、友達とプールに行き、祭りで遊んだりして。毎日が楽しかったはずだ。いつかは少年じゃなくなってしまうのだろう。そんなことを考えれば、また頭がクラクラする。

北橋教授が一般向けの講義を開催

軍事学部放射能兵器学の北橋謙士郎教授の一般向けの放射能汚染についての講義が、6月1日にIMP大阪小ホールで行われた。

講義では福島第一原子力発電所事故のことや、中国の核実験の話など、様々な放射能にかかわる話がされた。中でも釣塔大学医学部の調査によって判明した、こんにやくの放射線遮蔽効果の話では、多くの観衆が驚きのあまり声を上げた。この講義について、市議会議員のN山氏は「くずにつべこべいわれたくないわ。献血の車が止まっているけど、放射能汚染地域に住む人の血ってほしいですか?」と語った。

SLOTギガント☆スロット
STATION 出る出る玉出る!
HEAVEN 新装開店